

こころとからだに、
おいしいものを。



2019年度（2020年1月期） 第3四半期 決算概要

ダイドーグループホールディングス株式会社
(東証一部：2590)

2019年11月26日

1. 2019年度 第3四半期決算概要／通期業績予想	P.03～09
2. 2019年度 第3四半期 セグメント別概況	P.10～21
【別冊】補足資料：当社グループのビジネスモデルと成長戦略	
当社グループのビジネスモデル	P.01～13
当社グループの成長戦略	P.14～29

こころとからだに、
おいしいものを。



1. 2019年度（2020年1月期） 第3四半期 決算概要／通期業績予想

2019年度 第3四半期 連結決算の概要

- ▶ 第3四半期の連結売上高は、1,309億25百万円（前年同期比1.7%減）
- ▶ 天候不順の影響もあり、国内飲料事業は前年同期比2.5%減収
- ▶ 医薬品関連事業は前年同期比5.0%増収、食品事業は前年同期比6.8%増収となり、堅調な売上推移
- ▶ 海外飲料事業は、トルコ飲料事業の利益貢献により黒字を確保

単位：百万円

	第3四半期（1/21～10/20）						通期					
	2018年度実績		2019年度実績				2018年度実績		2019年度業績予想			
		構成比		構成比	増減率	増減額		構成比		構成比	増減率	増減額
売上高	133,229	100.0%	130,925	100.0%	△1.7%	△2,304	171,553	100.0%	170,000	100.0%	△0.9%	△1,553
営業利益	5,998	4.5%	3,969	3.0%	△33.8%	△2,028	6,071	3.5%	3,400	2.0%	△44.0%	△2,671
経常利益	5,752	4.3%	4,059	3.1%	△29.4%	△1,692	5,998	3.5%	3,700	2.2%	△38.3%	△2,298
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	3,432	2.6%	2,879	2.2%	△16.1%	△553	3,856	2.2%	2,400	1.4%	△37.8%	△1,456

E P S	208.41円	174.79円	△16.1%	△33.62円	234.15円	145.71円	△37.8%	△88.44円
-------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	--------	---------

2019年度第3四半期 連結業績／通期業績予想(セグメント別)

▶ 希少疾病の医療用医薬品事業の事業開始に伴い、第3四半期より「その他」区分を新たに追加。

単位：百万円

	2018年度 第3Q実績	2019年度 第3Q実績		2018年度 通期実績	2019年度通期業績予想			
		増減率	増減額		増減率	増減額		
国内飲料事業	95,536	93,146	△2.5%	△2,389	124,879	122,350	△2.0%	△2,529
海外飲料事業	14,001	12,709	△9.2%	△1,292	17,154	16,800	△2.1%	△354
医薬品関連事業	8,199	8,606	5.0%	407	10,964	11,550	5.3%	585
食品事業	15,934	17,022	6.8%	1,088	19,114	19,850	3.8%	735
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
調整額	△441	△560	-	△118	△559	△550	-	9
売上高合計	133,229	130,925	△1.7%	△2,304	171,553	170,000	△0.9%	△1,553
国内飲料事業	6,097	3,421	△43.9%	△2,676	7,106	4,945	△30.4%	△2,161
海外飲料事業	△362	254	-	616	△704	△347	-	357
医薬品関連事業	795	427	△46.3%	△368	847	636	△25.0%	△211
食品事業	454	848	86.5%	393	235	366	55.3%	130
その他	-	△103	-	△103	-	△600	-	△600
調整額	△986	△877	-	109	△1,413	△1,600	-	△186
営業利益合計	5,998	3,969	△33.8%	△2,028	6,071	3,400	△44.0%	△2,671

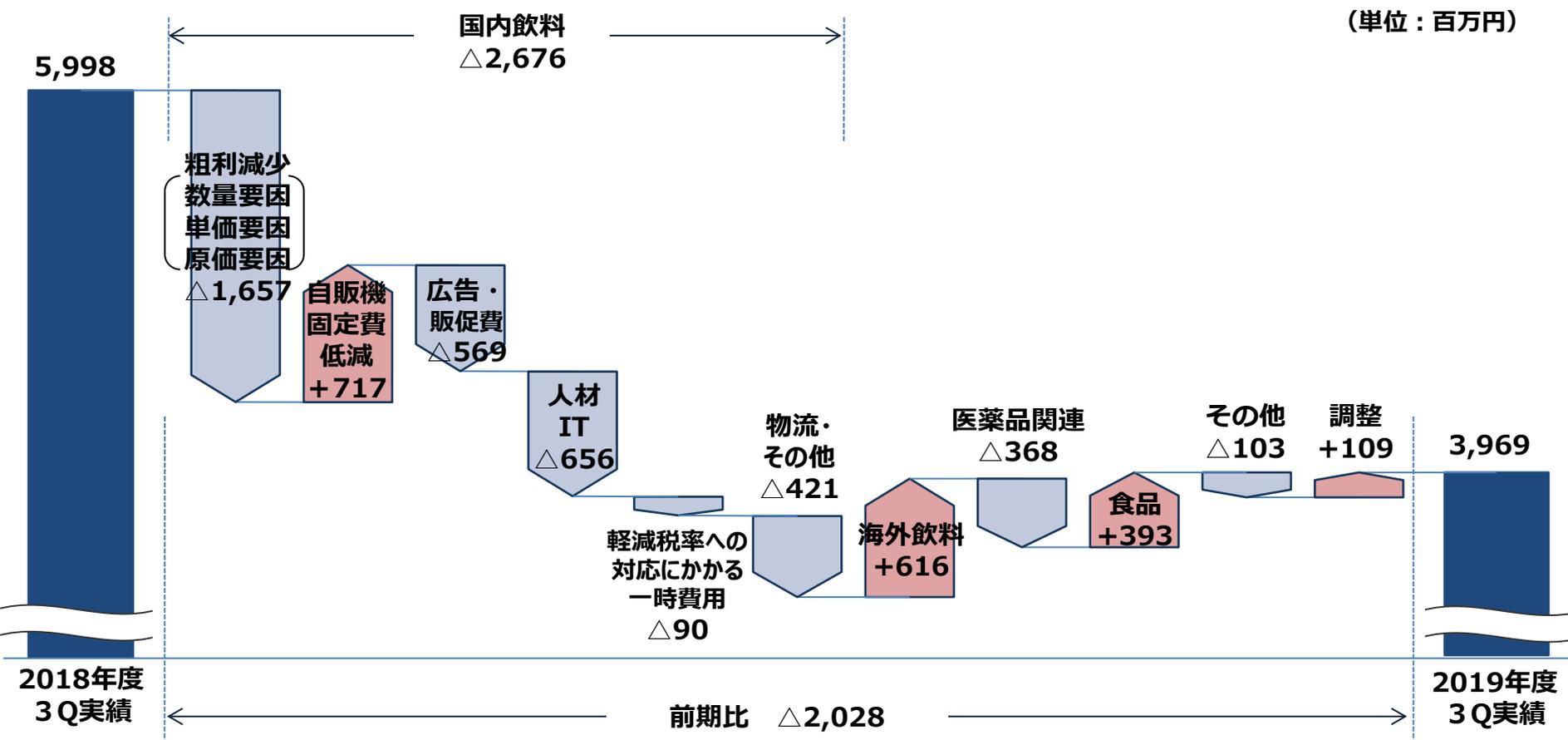
〈中期経営計画2021〉現時点の進捗状況

▶ 足元は厳しい業績推移ながら、将来の成長に向けた基盤作りを着実に推進

中期経営計画2021 基本方針	現時点の進捗状況
収益改善を軸とする施策により、 キャッシュ・フローの最大化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外飲料事業、食品事業の収益性が大きく改善 × 7月の低温・10月の台風の影響を受け、国内の飲料販売が苦戦 × 営業利益は前年同期を下回る水準で推移
おいしさと健康を追求した 商品とサービスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大人のカロリミット®」茶が好調、サプリメント通販の成長 ○ たらみ（食品事業）のマーケットシェア拡大 × コーヒー飲料の販売が苦戦
海外飲料事業における 戦略拠点の選択と集中	<ul style="list-style-type: none"> ○ トルコ飲料事業の大幅な伸びによる黒字確保 △ トルコからの輸出拡大に向けた販売拠点の整備 △ マレーシア事業は合併を解消し、100%子会社化
各事業の成長や新たな事業創出に 向けた戦略投資	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大同薬品工業（医薬品関連事業）の新工場は10月に竣工 △ スマートオペレーション体制構築に向けてテスト検証中 △ M&A案件については、継続的に調査・検討
DyDoグループの持続的成長を リードする人財戦略	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ行動規範の浸透活動の実践

2019年度 第3四半期 営業利益の増減要因

- ▶ 国内飲料事業は、天候要因等による販売数量の減少が利益面に影響
- ▶ 医薬品関連事業は、新工場やパウチライン新設に伴う準備費用の増加
- ▶ 海外飲料事業は黒字化、食品事業は売上成長を伴い、収益性が大きく改善

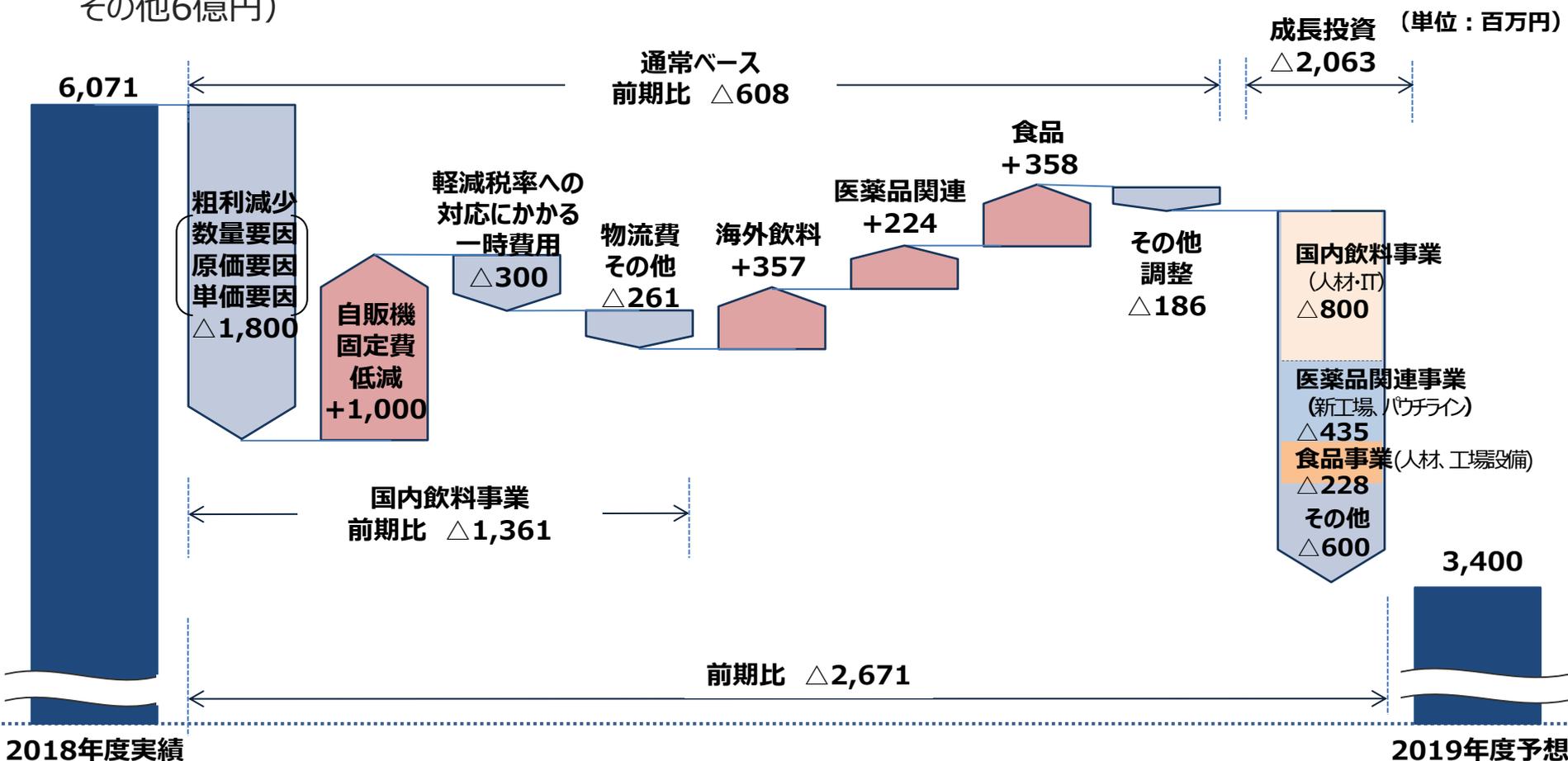


(ご参考) 2019年度 通期業績予想 営業利益の増減要因 - 前期比 -

▶ 物流費高騰・原価率上昇の影響は約11億円（国内飲料事業）

▶ 成長投資による影響は約20億円

（国内飲料事業 8 億円、医薬品関連事業の新工場建設等約 4 億円、食品事業約 2 億円、その他6億円）



財政状態 – 連結貸借対照表の主な増減 –

- ▶ **大同薬品工業（医薬品関連事業）の関東工場新設（2019年10月竣工）等により、有形固定資産（建物・機械装置等）が増加**
- ▶ **TCI株式の時価変動等により投資有価証券が減少**

（単位：百万円）

金融資産 ^{※1} 86,783	有利子負債 ^{※2} 35,111
	仕入債務 19,716
	その他 22,863
売上債権 19,804	純資産 93,940
たな卸資産 8,782	
有形固定資産 無形固定資産 45,193	
その他 11,069	
資産合計 171,632	
負債及び純資産合計 171,632	

2019年1月20日

（単位：百万円）

金融資産 ^{※1} 80,394 (△6,389)	有利子負債 ^{※2} 35,024 (△87)
	仕入債務 22,575 (+2,858)
	その他 26,786 (+3,922)
売上債権 23,169 (+3,364)	純資産 92,109 (△1,830)
たな卸資産 9,734 (+952)	
有形固定資産 51,388 無形固定資産 (+6,195)	
その他 11,808 (+739)	
資産合計 176,495 (+4,862)	
負債及び純資産合計 176,495 (+4,862)	

2019年10月20日

※1：現金及び預金、有価証券、投資有価証券（関係会社株式を除く）、長期性預金

※2：短期/長期借入金、短期/長期リース負債・債務、社債、長期預り保証金

* 売上債権・たな卸資産・仕入債務の主な増加は季節変動によるもの

こころとからだに、
おいしいものを。



2. 2019年度（2020年1月期） 第3四半期 セグメント別概況

セグメント別季節変動

売上高 / セグメント売上高

単位：百万円

		1Q	2Q	3Q	4Q	計
連結	2018年度	39,966	47,023	46,239	38,323	171,553
		23.3%	27.4%	27.0%	22.3%	100.0%
	2019年度	39,633	45,805	45,486	-	-

営業損益 / セグメント損益※

単位：百万円

		1Q	2Q	3Q	4Q	計
		724	2,555	2,718	73	6,071
		11.9%	42.1%	44.8%	1.2%	100.0%
		△ 113	2,146	1,936	-	-

国内飲料	2018年度	29,510	32,862	33,162	29,343	124,879
		23.6%	26.3%	26.6%	23.5%	100.0%
	2019年度	29,143	31,666	32,336	-	-
海外飲料	2018年度	3,788	5,199	5,013	3,153	17,154
		22.1%	30.3%	29.2%	18.4%	100.0%
	2019年度	3,402	4,606	4,700	-	-
医薬品関連	2018年度	2,694	2,866	2,637	2,764	10,964
		24.6%	26.1%	24.1%	25.2%	100.0%
	2019年度	2,887	2,866	2,852	-	-
食品	2018年度	4,112	6,275	5,546	3,180	19,114
		21.5%	32.8%	29.0%	16.7%	100.0%
	2019年度	4,398	6,869	5,754	-	-

		970	2,446	2,679	1,009	7,106
		13.7%	34.4%	37.7%	14.2%	100.0%
		△ 74	1,750	1,745	-	-
		△ 158	△ 89	84	△ 285	△ 449
		-	-	-	-	100.0%
		57	182	173	-	-
		356	306	132	52	847
		42.0%	36.2%	15.6%	6.2%	100.0%
		230	127	69	-	-
		12	443	263	△ 130	587
		2.1%	75.4%	44.8%	-	100.0%
		154	595	361	-	-

※海外飲料事業、食品事業はのれん等償却前のセグメント利益

国内飲料事業 セグメント別概況

国内飲料事業の概況

単位：百万円

	2018年度実績		2019年度実績				2018年度実績		2019年度業績予想			
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比	増減率	増減額		構成比		構成比	増減率	増減額
売上高	95,536	100.0%	93,146	100.0%	△2.5%	△2,389	124,879	100.0%	122,350	100.0%	△2.0%	△2,529
営業利益	6,097	6.4%	3,421	3.7%	△43.9%	△2,676	7,106	5.7%	4,945	4.0%	△30.4%	△2,161

- 7月の記録的低温、10月の台風などの天候要因が販売に影響
- 競合他社の価格政策により市場環境が厳しさを増す中、その他飲料は好調を維持

	第1Q	第2Q	第3Q	累計	
	増減率	増減率	増減率	販売数量 (千箱)	増減率
コーヒー飲料	△ 8.9%	△ 12.8%	△ 9.7%	20,591	△ 10.5%
その他飲料	7.2%	5.1%	3.3%	20,620	5.0%
合計	△ 2.6%	△ 4.1%	△ 3.2%	41,211	△ 3.3%

チャネル別内訳（累計）			
自販機		その他	
販売数量(千箱)	増減率	販売数量(千箱)	増減率
15,857	△12.7%	4,733	△ 1.8%
17,821	2.0%	2,798	28.9%
33,679	△5.5%	7,532	7.7%

稼働日前期比増減	△ 1 日	△ 3 日	△ 2 日	△ 6 日
----------	-------	-------	-------	-------

国内飲料事業 商品ラインナップの強化①

▶ 本格シーズンを迎えるコーヒーカテゴリに新商品を投入、ラインナップを強化

● 自販機向け

伸長するラテ市場に向け、各ブランドシリーズに新商品を投入

- ✓ 「ダイドーブレンド デミタスラテ」
- ✓ 「ダイドーブレンド コク深ラテ 世界一のバリスタ※監修」
- ✓ 「ダイドーブレンド ラテ 世界一のバリスタ※監修」

※ワールドバリスタチャンピオンシップ 第14代チャンピオンピート・リカータ氏

9月初旬
発売



● 流通チャネル向け

成熟に向かうPETボトルコーヒー市場へ新たな嗜好性と華やかさを提案

- ✓ 「ピエール・エルメ×ダイドーブレンド カフェ・オ・レ ショコラ・ブリーズ」



流通チャネルの販売増に大きく貢献

8/27
大手各コンビニ
チェーンで
先行発売



国内飲料事業 商品ラインナップの強化②

▶ 流通チャネル向けの「大人のカロリーミット®」茶シリーズの販売は引き続き好調

2016年11月

ダイドー初の機能性表示食品として
「大人のカロリーミット® **はとむぎブレンド茶**」を発売

2017年1月

発売から約4か月で販売本数1,000万本を突破

2017年8月

シリーズ第2弾「大人のカロリーミット® **玉露仕立て緑茶プラス**」を発売

2019年3月

“持ちごち”を追求したオリジナルボトルを採用し、リニューアル
既存の2品に加えて、「大人のカロリーミット® **すっきり無糖紅茶**」
「大人のカロリーミット® はとむぎブレンド茶 発芽玄米入り」を発売

流通チャネルにおける前年比販売数量



▶ 新規設置場所の開発強化と、設置後のオペレーションの効率化をめざす

● 営業体制の強化によるクローズドロケーション開拓の強化

開発人員の「量」「質」両面で強化を図る

- ✓ 新規設置場所の開発営業担当の人員増
- ✓ 社内研修やSFA※の導入による担当者の継続的なスキルアップ

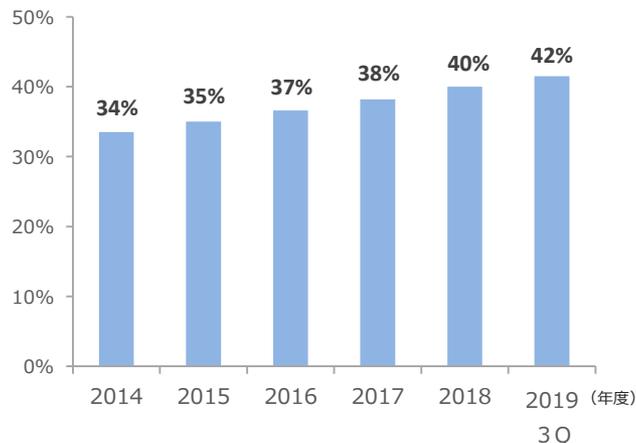
※Sales Force Automation（営業支援システム）

● スマートオペレーション構築に向けたテストの進捗

特定の営業所でテストを実施、現場での課題抽出・改善を継続

- ✓ 一人あたり担当台数の増加
- ✓ 来期以降の展開に向けた検討に着手

クローズドロケーション比率の推移



営業所でプレテストを実施

済

特性の違う複数の営業所でテスト検証、課題抽出・改善

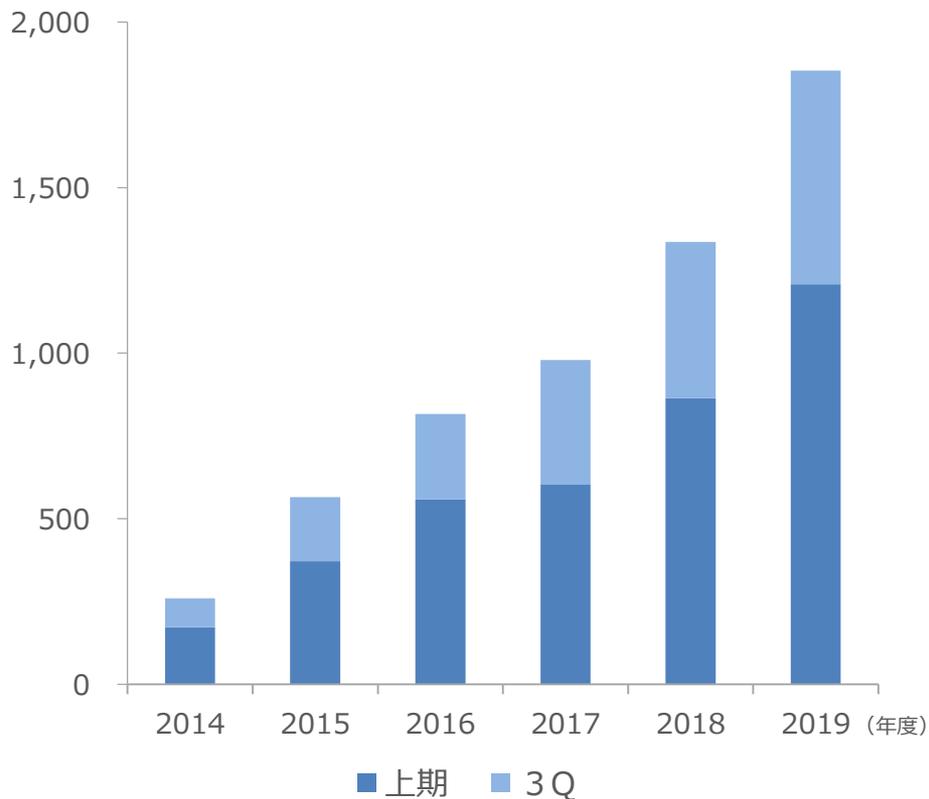
実施中

展開規模の検討

▶ 通信販売チャネルは着実に成長

- 通信販売チャネルの売上推移

(百万円)



- 基幹商品「ロコモプロ」を中心にラインアップを拡充



▶ 海外飲料事業の概況

単位：百万円

	2018年度実績		2019年度実績					2018年度実績		2019年度業績予想			
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比	増減率	増減額		構成比	構成比	増減率	増減額		
売上高	14,001	100.0%	12,709	100.0%	△9.2%	△1,292	17,154	100.0%	16,800	100.0%	△2.1%	△354	
営業損益	△164	-	413	3.3%	-	577	△449	-	△150	-	-	299	
のれん等償却額	197	-	158	1.2%	△19.7%	△38	255	1.5%	196	1.2%	△23.1%	△59	
のれん等償却後営業損益	△362	-	254	2.0%	-	616	△704	-	△347	-	-	357	
トルコリラ	24.15円		19.40円		△4.75円		23.41円		18.00円		△5.41円		
マレーシアリンギット	27.46円		26.41円		△1.05円		27.34円		27.00円		△0.34円		

- トルコ飲料事業の好調な業績が海外飲料事業の黒字確保に貢献
- マレーシア飲料事業は、合併を解消し、100%出資販売子会社としてスタートを切る



ヨーグルトドリンク 「BeFine (ビーファイン)」 炭酸飲料 「vida (ヴィダ)」

マレーシアで発売したハラル認証の新品

▶ トルコ飲料事業

- 第3四半期までの累計売上高は現地通貨ベースで前期比13%増
- 収益性の高いミネラルウォーターの好調な販売が全体を牽引
- トルコ国内の足元の個人消費は減速傾向
- 輸出拡大に向けた体制整備（イギリス、モスクワ）により収益の安定化を図る

現地通貨ベース実績			第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	累計
2019年度	売上前年比	四半期	+30%	+17%	+2%		+13%
	為替(1トルコリラ)	累計実績	20.57円	19.63円	19.40円	想定→	18.00円
2018年度	売上前年比	四半期	+28%	+32%	+38%	+4%	+26%
	為替(1トルコリラ)	累計実績	27.98円	26.53円	24.15円	23.41円	23.41円



ミネラルウォーターブランド
Saka (サカ)



好調なHOD (Home Office Delivery) のサービススタッフ



イギリス・モスクワへの輸出体制を整備

▶ 医薬品関連事業の概況

単位：百万円

	2018年度実績		2019年度実績				2018年度実績		2019年度業績予想			
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比	増減率	増減額		構成比	構成比	増減率	増減額	
売上高	8,199	100.0%	8,606	100.0%	5.0%	407	10,964	100.0%	11,550	100.0%	5.3%	585
営業利益	795	9.7%	427	5.0%	△46.3%	△368	847	7.7%	636	5.5%	△25.0%	△211

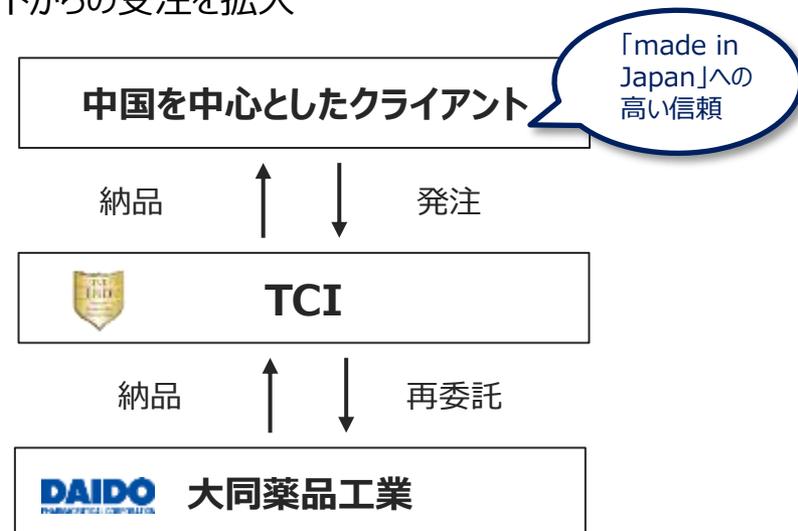
- TCIとの協業効果による中国市場向け美容ドリンクの受注が拡大
- 受注商品構成変化による収益面への影響
- 奈良工場パウチラインと関東新工場（群馬県館林市）の竣工により第4Qより減価償却費が増加



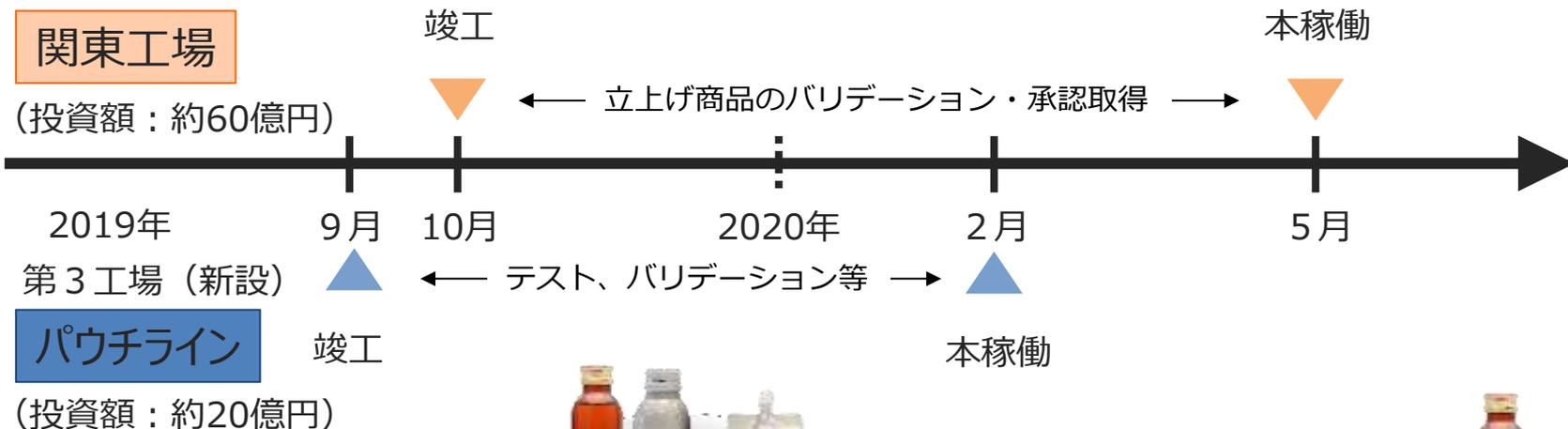
10月10日：関東工場竣工記念式典を挙行

- TCIを通じた受託製造量の増加

グループで11.8%を出資するTCIとの資本・業務提携関係の維持・発展により、中国を中心としたクライアントからの受注を拡大



▶ 関東工場とパウチラインの操業開始スケジュール



▶ 食品事業の概況

単位：百万円

	2018年度実績		2019年度実績				2018年度実績		2019年度業績予想			
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比	増減率	増減額		構成比		構成比	増減率	増減額
売上高	15,934	100.0%	17,022	100.0%	6.8%	1,088	19,114	100.0%	19,850	100.0%	3.8%	735
営業利益	718	4.5%	1,112	6.5%	54.8%	393	587	3.1%	716	3.6%	21.8%	128
のれん等償却額	264	1.7%	264	1.6%	-	-	352	1.8%	350	1.8%	△0.6%	△2
のれん等償却後営業損益	454	2.9%	848	5.0%	86.5%	393	235	1.2%	366	1.8%	55.3%	130

- 中高価格帯カップゼリーの拡販とパウチゼリーの新商品投入効果
- 多面的なコスト見直しによる収益力強化

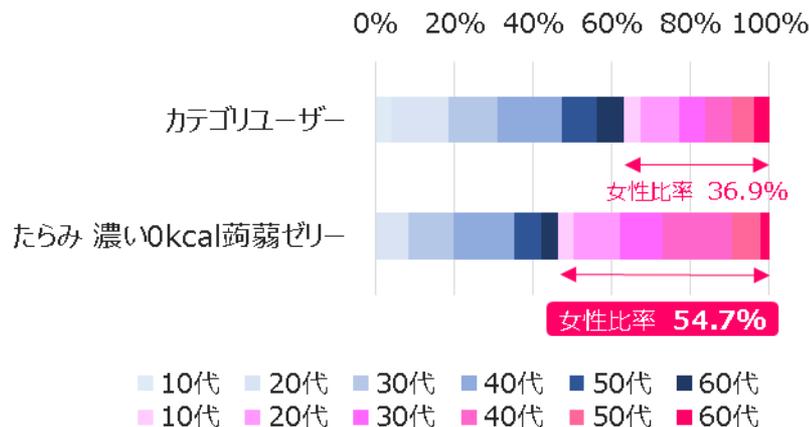


9/24
発売

たらみ初の機能性表示食品「おいしい蒟蒻ゼリー PREMIUM+」

機能性表示 「食後の中性脂肪や血糖値の上昇を抑える」「おなかの調子を整える」

コンビニエンスストアチャネルでのパウチユーザー構成比



こころとからだに、
おいしいものを。



本資料に記載されている、当社グループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の業績に関する見通しであり、これらは当社において現時点で入手可能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の業績は、不確定要素や経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。